| 学校番号 | ２０５ |
|---|---|

# 令和８年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 政治・経済 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校政治・経済　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 政治・経済資料 2025　（とうほう） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次の「公共」で、政治分野を学んだので、経済分野の学習を中心に、授業は行われます。
・様々なメディアの政治・経済に関するニュースを必ず、チェックしましょう。また、その際には、インターネットのニュースについて、常に発信元を確認し、フェイクではない正しい情報を得るようにしましょう。
・現代社会の経済について様々な見方・考え方を学び、有権者となる自覚を持って、より良き持続可能な社会を構築するための自分の意見を持てるように心がけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・諸資料から、民主的社会を担う「市民」として活動するために、必要となる情報を適切にかつ効果的にまとめる技能を身に着け、基本的原理（普遍的で汎用性のある理論や価値観）を活用して、現代の経済社会・企業・金融等についての幅広い知識を身につける。
【思考力・判断力・表現力】
・「政治・経済」で学んだ知識及び技能を活用し、現代社会における社会的問題・経済的問題などについて自ら考え、他者と考えを共有し伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・班学習（調べ発表学習・グループ討論）やディベートなどの活動を通して、合意形成のための議論の行い方や社会参画の方策を身につける。
・健全な民主主義社会の建設を担う「市民」としての人権感覚を磨くために、積極的かつ主体的に「政治・経済」の学習に取り組む姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 「政治・経済」の授業で学習する「現代の政治」「現代の経済」「現代社会の諸課題」の学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価する。 | 「政治・経済」で学んだ知識及び技能を活用して、現代社会の課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等が身についているかどうかを評価する。 | 知識及び技能の獲得や、思考力、判断力、表現力を身に着けることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面と、その取り組みのなかで自らの学習を調整しようとする側面を評価する。特に、班学習において、積極的に取り組んでいるかどうかや、主体的に考えて、現代社会の諸問題に対する解決策を提示しようと取り組んだかを評価する。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学 | 単元 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | ①<br>現代の政治 | 1，民主政治の基本原理<br>2，日本国憲法の基本的性格<br>3，日本の政治機構<br>4，現代日本の政治 | a:法や規範の意義及び役割などにかかわる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停・解決することなど通して、権利や自由が保障・実現され、社会の秩序が形成・維持されていることについて理解している。日本の安全保障と防衛などにかかわる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義についての理解を深めることができるようにすることとともに、日本の防衛に関する基本的な事項に触れながら、変化する国際情勢の中で、日本の安全が世界平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解している。差別問題や格差問題や環境問題や「少子高齢化」問題などの現代社会の諸課題にかかわる資料から自立した主体として活動するため必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる力を身に着けている。<br>b:自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定し、合意形成や選挙権の行使などの<br>社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて取り組むべき方法・内容などを基に協働して考察したり構想したりしたことを、確たる論拠を持って表現している。<br>c:よりよい持続可能な社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、日本の安全保障と防衛などにかかわる現代社会の事柄や課題といった現代社会の諸課題を主体的に解決しようとよく考えて様々な授業中の活動に参加できている。 | 定期考査・ノートやプリント | 定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション | 活動の様子の観察・プレゼンテーション |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | ②　現代の経済 | 1、 経済社会の変容<br>2、 現代経済の仕組み<br>3、 現代経済と福祉の向上<br>4、 世界経済と日本 | a:雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどにかかわる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。現実社会の諸課題にかかわる資料から自立した主体として活動するため必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる力を身に着けている。<br>b: 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。<br>c: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどにかかわる現実社会の事柄や課題といった現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | 定期考査・ノートやプリント | 定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・判別調べ学習・ | 活動の様子の観察・プレゼンテーション・判別調べ学習 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | ③　現代社会の諸課題 | 1,「地域社会の変貌と住民生活」 地域社会をいかに活性化するか<br>2,「中小企業の新しい変化」 中小企業の活力をいかに満たすか<br>3,「農業・農村と食料、環境問題」 農業の自由化・企業化論と農業・農村保護・食料安保論<br>4,「雇用と労働をめぐる問題」 安定した雇用か、多様な働き方か<br>5,「これからの社会保障のあり方」 生活保障か勤労の義務付けか<br>6,「地球環境の保全と経済成長」 地球温暖化対策と経済成長は料理ゆするか<br>7、「原子力と再生可能エネルギー」 エネルギー政策をどのように講じるか<br>8、「人種・民族問題」 多様性を許容する社会の形成をめざして<br>9,「国際経済格差の是正と国際協力」 貧困削減をどのように成し遂げるか<br>10、「国際社会における日本の立場と役割」 国益の重視か、人類益の追求か | a:それぞれが選択した課題について必要な知識を習得している。それぞれが選択した課題について、必要な情報を収集し、読み取りまとめることができる。<br>b:それぞれが選択した課題について問いを見いだし、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した課題に対し、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、共に生きる社会を築くという観点からそれぞれが選択した課題を主体的に解決しようとしている。 | 定期考査・ノートやプリント | 定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・判別調べ学習・ | 活動の様子の観察・プレゼンテーション・判別調べ学習 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度